

● 第40回「とやま賞」……………3

● 「夢の卵」育成事業………………………6

● きらめき未来塾 ………………8

● 子どもたちの生きる力を育む起業家教育推進事業 …………9

● 高校生とことん科学セミナー、高等教育振興事業 ……………10



識いたしました。 大学進学を機に故郷の富山をはなれ、大学進学を機に故郷の富山を後いた後は、 思返しもこめて富山で教育研究ができればと思っていたところ、念願かなって27年ぶり富山に戻ってくることができました。富山に戻ってみると、やはり自然の美しさと、海産物をはじめとり自然の美しさと、海産物をはじめとしたおいしい食材のすばらしさを再認したおいしい食材のすばらしさを再認

てからの平均気温は55℃と、15℃も上の富山県の平均気温は35℃、戻ってきると残念ながら勘違いではなく、以前け?と感じました。気象データを調べ一方で、こんなに富山は暑かったっ

ることになりました。 以日、真夏日は44日から33日、猛暑日は1.9日から122か月も増えたことになりすると夏が2か月も増えたことになります。27年ぶりに故郷に戻ってきたことで、はからずも地球温暖化を実感することになりました。夏日は平均5.6日から

地球温暖化は世界共通の問題であり、深刻な気候変動とそれに伴う動植り、深刻な気候変動とそれに伴う動植り、深刻な気候変動とそれに伴う動植り、深刻な気候変動とそれに伴う動植り、深刻な気候変動とそれに伴う動植り、深刻な気候変動とそれに伴う動植が、からと議論されていますが、「悪た時より美しく」の考えますが、「来た時より美しく」の考え方は大切ではないでしょうか。

ギーを賄うことは難しいでしょう。たシャルが高くても、県全体のエネル富山の再生可能エネルギーのポテンしかし、現代の産業規模において、

天候にも大きく左右されます。太陽光パネルは夜には発電しませんし、本ルギーゆえに不安定であり、例えば、本ルギーゆえに不安定であり、例えば、本場光パネルは夜には発電しません。かし、再生可能エネルギーによる自 だし、小さなコミュニティレベルで

再生可能エネルギーの安定化に一再生可能エネルギーの安定化に一つと燃料電池車のイメージが強いですると燃料電池車のイメージが強いですると燃料電池車のイメージが強いですると燃料電池車のイメージが強いですが、水素エネルギー活用のほんの一例が、水素エネルギー活用のほんの一切が、水素エネルギー活用のほんの一切が、水素エネルギー活用のほんの一切が、水素エネルギー活用のほんの一切が、水素エネルギー活用のほんの一切が、水素エネルギー活用のほんの一切が、水素エネルギー活用のほんの一切が、水素エネルギー活用のほんの一切にすぎません。

素吸蔵合金で貯めておき、発電量が落を搭載したトラックの実証試験も行われています。また、廃アルミから水素を下り出し燃料電池で発電したり、燃を取り出し燃料電池で発電したり、燃を取り出し燃料電池で発電したりが誕生しました。さらに水素エンジンが誕生しました。また、廃アルミから水素が延生しました。さらに水素エンジンが起生しました。さらに水素エンジンが起生しました。さらに水素エネルギーの利活用では水素でででであっています。2020年に北陸で初の商用水素ステーションが過失します。

とができます。ちる冬に再び燃料電池で電気に戻すこ

きればと思っています。

さればと思っています。
はながら研究・教育を通じて貢献でいるのではと期待しています。自分もにないではと期待しています。自分ものではと期待していましていましているがら研究・教育を通じて貢献でいるがらがら研究・教育を通じて貢献である。



水素エネルギー実演教室の様子

プロフィール

脇坂 暢(わきさか みつる)

環境・社会基盤工学科(教授富山県立大学工学部)

イリノイ大学にて博士研究員。 2002年 東北大学大学院工学研究科修了。

2013年 第30回とやま賞受賞。家プロジェクトに従事。料電池ナノ材料研究センターにて燃料電池の国料電池の国の場合があります。

- 7年 富山県立大学に着任、現在に至る。

れる個人または団体です。

ツの分野において顕著な業績を 科学技術、文化・芸術及びスポー

かつ将来の活躍が期待さ

または県内在住者で、学術研究、

受賞対象者は、富山県出身者

令和5年5月22日(月)

贈呈式・受賞記念講演



富山県の将来を担う有為な人材

富山県の置県百年を記念し、

とやま賞

とは

和5年に創設されました。 の育成に資する目的をもって昭

石塚選考委員長による選考経過報告



新田知事より賞状・目録贈呈







受賞記念講演



からは、

眼科医として筑波大学附属病院

富山で育ちました。筑波大学を卒業して 過ごした以外、富山高校を卒業するまで 父の仕事について2年間ニューヨークで

で勤務しています。

賞を賜り、誠にありがとうございます。

この度は、大変栄誉ある第40回とやま

富山県ひとづくり財団ならびに関係者の

皆様に心より御礼申し上げます。

私は小杉町(現在の射水市)で生まれ

22日に、パレブラン高志会館にて執り行わ れました。 贈呈式では、新田富山県知事から受賞者

筑波大学医学医療系眼科

准教授

学術研究部門

医薬分野

(眼科学)

第4回「とやま賞」贈呈式は、去る5月

5名に賞状及び奨励金目録が手渡されまし れまでの経緯についてプレゼンテーション していただきました。 た。また、各受賞者からは受賞の喜びやこ

回の受賞

術を応用して失明を防ぐ 福田

慎一

氏

イメージング・再生・老化の研究技

C T は、 Science Advances誌などに成果を報告し 断層計) 究も行っており、Nature Medicine誌や メージング技術を駆使し眼の老化の研 を目指し研究を進めています。さらにイ る次世代型OCTの開発を行い、実用化 次元OCTの臨床応用を世界で初めて報 えるまでになりました。私は、 断面を見ることができるイメージング装 私はこれまで20年近くОСТ (光干渉 現在も瘢痕化や細胞機能を評価でき 眼科診療に必要不可欠な機器と言 非接触かつ高精度に生体組織の の開発に携わってきました。〇 前眼部3

ました。そして現在は、これまでの研究

と思います。と思います。の賞に恥じないようにさらに頑張りたいしいテーマに挑んでいます。今後も、この賞に恥じないようにさらに頑張りたいを融合させた「ダイレクトリプログラミ

最後に、昭和59年の第1回とやま賞受 となったすら続けて来ました。そんな父の姿を たすら続けて来ました。そんな父の姿を たすら続けて来ました。そんな父の姿を にずら続けて来ました。そんな父の姿を だすら続けて来ました。そんな父の姿を 見ていたのも、もしかしたら私が研究の 道に進んだきっかけのひとつになっているのかもしれません。改めてここまで育るのかもしれません。改めてここまで育るのかもしれません。改めてここまで育るのかもしれません。改めてここまで育るのかもしれません。改めてここまで育るのかもしれません。改めてこまで育るのかもしれません。といいと思い

字術研究部門 理工分野(有機·高分子材料科学)

大阪大学大学院工学研究科 講師



石割文崇氏

賞者)から耳にした話ですが、高田先生は後に、山村正樹先生(第35回とやま賞受

た」と言っておられたそうです。AI技

「石割は水を得た魚のように実験してい

思われるかもしれませんが、実際はまる思われるかもしれませんが、実際はまるます。博士課程終了後は福島孝典先生の研究室で分子の「集合体」で面白います。これらの研究室で今いただいています。これらの研究をさせていただいています。これらの研究をさせていただいています。これらの研究をさせていただいています。これらの研究をさせていただいています。「科学の研究」と聞くと、やラダーポリマーの研究成果を挙げることができました。「科学の研究」と聞くと、現在では、実際は、実際は、実際は、実際は、大学の研究」といい。

で「遊び」のようなとても楽しいものです。

の開発 二次元性を有する有機・高分子物質

もある高田十志和先生(立山町出身)のが、富山の縁に引かれ、本賞の推薦者で東京工業大学に進学して上京したのですを、18年間を富山で過ごしました。その後、神明小学校、西部中学校、富山中部高校と、18年間を富山で過ごしました。その後、富山県富山市に生まれ、営営あるとやま賞を頂き大変嬉しく存業

いみなさんには、自分は本当は何がしためる「遊び」の力だと思います。特に若もむしろ、人それぞれが心の底から楽しは、学校で成績を収めるための勉強よりりません。そのような中で大切になるの世界では、一体何が正解なのか誰も分かでの台頭などで複雑性が加速した現在の

(楽しい) のかを忘れることなく成長

ら楽しんで取り組むように、自分の好きし、アーティストやスポーツ選手が心か

様に研究に取り組んだという記憶があり おとうございました。 高田研究室では、 なことに熱中して世界を変えて行ってく研究をに所属しました。 高田研究室では、 なことに熱中して世界を変えて行ってく研究をに所属しました。 高田研究室では、 なことに熱中して世界を変えて行ってくび究に取り組んだという記憶があり

富山大学地域連携推進機構地域医療・保健支援部門学術研究部門 人文社会分野(社会疫学、学校保健)

副部門長(准教授)



出工明氏

教育(Evidence-based Education)の実践子どものネット依存研究と結果に基づく健康

研究を始めました。当初の研究テーマは(市民病院や日赤など)で12年間勤務し、消化器内科医であったためアルコール依存の末期の患者さんをよく担当していました。その経験から日々の生活習慣いました。その経験から日々の生活習慣の重要性を実感し、現在私が所属する講座で「子どもの生活習慣病」についての座で「子どもの生活習慣病」についての病院

演を受けるようになっています。 験はありましたがネット依存は詳しくな を切望され、急遽研究テーマを変更しま 事業(平成24年度、文科省スーパー食育 デンスには多くの教育・医療関係者から 量的に示すことができました。このエビ のネット時間を減らせ」という結果を数 末、子どものネット依存の予防には「親 研究に取り入れました。これらの苦労の 行ったりして知識を増やし、自身の疫学 ある久里浜医療センターに何度も研修に めた理由です。アルコール依存の治療経 んこよりも「ネット依存」に関する研究 スクール事業)で、養護教諭の方からう した。しかし高岡市内の小学校との連携 注目が集まり、年間30から40回の招待講 した。これが私がネット依存の研究を始 「子どもの生活習慣とうんこの関係」で 独学で調べたり国内で先導的機関で

現在様々な分野でデジタル化が進め現在様々な分野でデジタル化が進めです。

に深く御礼申し上げます。参加して頂いた県内の児童、保護者の方山大学医学部長)、ならびに疫学調査にら御指導を頂きました関根道和教授(富島後になりましたが私の研究を最初か

文化・芸術部門

オペラ

サン・カルロ歌劇場



栗原 峻希 氏

クール等の入賞

この度、このように栄えある「とやま」を頂戴し、大変光栄に思います。射が、今こうやってイタリア三大歌劇場である、ナポリのサン・カルロ歌劇場である、ナポリのサン・カルロ歌劇場である、ナポリのサン・カルロ歌劇場である、ナポリのサン・カルロ歌劇場でから事ができるのも、やはり富山の懐の深さ、豊かな環境があったからだと思います。小杉小学校、小杉中学校と剣道を続け精神面の強さを培い、呉羽高校では日々音楽を身近に感じ、音楽と共に生きていく事の可能性を自分の中で感じました。恩師の黒崎隆憲先生、内山太一先生のご指導により道が開けて、東京芸術大学に入学する事ができました。

を表して、またローム・ミュージック・ファンは恐ろしい先生に師事をして、そこで剣造で鍛えられた精神面がまず生かされまが付きました。 を大の院、オペラ科を経動が付きました。 を大の院、オペラ科を経ず付きました。 を大の院、オペラ科を経て、文化庁の新進芸術家海外研修生として、文化庁の新進芸術家海外研修生として、文化庁の新進芸術家海外研修生として、文化庁の新進芸術家海外研修生という、それを表して、またローム・ミュージック・ファン

著名な歌手達と交流してきました。リエッラ・デヴィーアなど世界の様々なア・バルトリ、レナータ・スコット、マ学し、シェリル・ミルンズ、チェチーリデーションの奨学生としてイタリアに留

験してみるととても楽しく、最初のうちまでしたことはありませんでしたが、体

大ポリは僕に沢山の事を与えてくれましたが、この土地の居心地がいいのもまた、海があり近くに山があり、どこか富た、海があり近くに山があり、どこか富た今後の歌手人生を歩んでいきたいと思います。そして、今回この頂いた「とやいます。そして、今回この頂いた「とやには世界的な歌手になれるように頑張りには世界的な歌手になれるように頑張りには世界的な歌手になれるように頑張りには世界的な歌手になれるように頑張ります。近いうちに是非、直接皆様とコンサート会場でお会いできる日を楽しみにしております。

ムラサキスポーツ/学校法人藤園学園龍谷富山高等学校スポーツ部門 スケートボード



中山楓奈氏

スケートボード競技女子ストリートで銅メダルを獲得第3回オリンピック競技大会(東京2020)における

とに決めました。スケートボードはそれみればどうか」と勧められ、挑戦するこケートボードの経験者で、父から「スケートボードの経験者で、父から「スケートパークができました。私の父はスケートパークができました。

収めました。 LSロンドン大会に出場し6位の成績を 学2年生の時に強化指定選手となり、 組むようになったのです。その結果、 が強くなり、それまで以上に練習に取り もっと競技力をのばしたいという気持ち そしてその大会で優勝することができ、 にとってのデビュー戦にとなりました。 中部地区での大会があり、この大会が私 うになりました。小学校4年生のときに 思うようになり、本格的に練習に励むよ 買ってもらい、もっと上手くなりたいと 2ヶ月後に自分のスケートボードを父に は遊び感覚でしていました。始めてから S 中

を獲得できるよう、毎日放課後に練習に 感がありました。順位はあまり気にして りきったという気持ちが強く、大変達成 滑りました。滑り終わったときには、 観てほしいという気持ちを持って全力で トサイドKグラインドを多くの人たちに ありましたが、私の得意技であるフロン オリンピックでは、大変プレッシャーも 定しました。7月下旬から行われた東京 ことから東京オリンピックへの出場が決 に出場することができ、6位に入賞した 励みました。6月のローマ大会では決勝 め、継続して東京オリンピックの出場権 内にある龍谷富山高等学校への入学を決 なりました。私は高校生になり、富山県 ロナの影響で1年間延期することが決定 2020年の東京オリンピックではコ オリンピックの出場権は持ち越しと

> 得得し、喜びでいっぱいになりました。 大会後、地元富山県に帰ってきた際には、 学校の先生方をはじめ、富山県の多くの 人たちが私のことを祝福してくださり、 人たちが私のことを祝福してくださり、 くなりました。高校2年生の6月にロー くなりました。高校2年生の6月にロー マ大会で優勝することができ、世界ラン 中川催されるパリオリンピック出場を目 指して毎日練習に励んでいます。パリオ リンピックでは、優勝して金メダルを獲 得したいです。



夢の印意成事業

この事業は、2002年にノーベル物理学賞を受賞された故 小柴昌俊さんの「子どもたちには『夢の卵』を持ち続けてほしい」とのメッセージにちなんで企画しました。子どもたちに「いくつもの『夢の卵』をもってもらうこと」、「『夢の卵』を温めてもらうこと」、そして「『夢の卵』を孵すこと」を支援し、自分の将来を考えてもらうきっかけづくりをねらいとして、平成16(2004)年度から実施しており、今年で19回目となりました。

4月中旬から5月にかけて、県内の小学校5、6年生と中学校1、2年生を対象に、「将来の夢(=夢の卵)」を書いた作文を募集し、その中から選んだ4名の児童生徒が、各分野の専門家に短期入門をしました。また、より多くの子どもたちの夢を応援するため、それ以外の秀でた作品を佳作として表彰しています。

小学生の部(応募数526作品)

音楽の力で人を元気にできる 音楽療法士になりたい

北林 来幸 さん (高岡市・小学6年)

介護が必要になった人に元気を取り戻してもらうために自分が何を できるかを考え、音楽療法士である丹保博美さん、釣吉美さん、道下 和美さんに入門。特別養護老人ホームでのセッションに参加し、音楽 療法士の業務内容や求められる技術、姿勢について学びました。

(体験記) 音楽療法は、医療、福祉、心理など音楽以外の知識が必 より 要なため、音楽療法士になってからも学会や研修会に参加 して学び続けていることを知りました。障がいや病気の有無や年齢 を問わず、すべての人が音楽療法の対象となるので、音楽療法士だけでなく他の資格も取得していろいろな知識や経験を活かし、対象者の役に立てるように学んでいきたいと思います。



音楽療法士の概要についての講義



特別養護老人ホームでのセッション体験



スギの伐採方法についての解説



立山室堂で森林官とパトロール体験

自然を守る森林官になりたい

寺本 芽生 さん (富山市・小学6年)

身近な自然とのふれあいの中で その素晴らしい環境(特に森林)を 後生に残していく森林官に大きな魅力を感じ、林野庁 中部森林管理局 富山森林管理署に入門。森林官の仕事である国有林の管理(間伐・境界 巡視等)や立山室堂における高山植物の保護などを体験しました。

体験記 私たちが普段何気なく使っている「木」は、長い年月を より かけて森林官や地元の方たちが守り、育てていることがわかりました。みんなが安全で豊かに暮らしていくには、自然を守る事が大切です。今日も自然を守るために頑張っている人たちの思いを受け継ぎ、何十年何百年先を見すえて、地域の人たちが笑顔で暮らせることに貢献できる森林官の仕事は素晴らしいと思いました。 私も改めて森林官になりたいと思った2日間でした。



- 医師
 - 野球選手
- び サッカー選手
- 4 保育士
- 3 教師



<令和5年度の入賞者数>

小学生の部 優秀賞 (短期入門) 2名 佳作 13名 中学生の部 優秀賞 (短期入門) 2名 佳作 15名



令和5年度 夢の卵表彰式

中学生の部(応募数563作品)

体の不自由で困っている人たちを 助ける義肢装具士になりたい

松野 瑞生 さん (富山市・中学1年)

日常生活を送ることが困難な人たちの義肢や装具をつくり、個々の生活・人生を支えたいと、富山県リハビリテーション病院・こども支援センターに入門。義肢装具士と患者さんとのやりとりも見学し、障がいのある人たちを支える意義ややりがいについて学びました。

(体験記) 医師や義肢装具士の皆さんは一人一人の患者様と向き合
より いながら、生活スタイルや要望、気持ちなどを聞き、患者様がやりたいと思うことを日常生活で出来るよう、使用しやすくベストな義肢や装具を作ってらっしゃいました。今回の短期入門では、義肢装具士の仕事の内容や役割を教えていただきましたが、「義肢や装具に関わり、体の不自由な人たちを支え、助ける仕事がしたい」という気持ちがさらに強くなりました。



実際の義肢のメンテナンスを見学



リハビリ施設・用具の解説



土器の洗浄・接合体験



発掘現場で発掘体験

遺跡の発掘で富山の歴史を 解き明かす考古学者になりたい

岩崎 愛 さん(砺波市・中学2年)

身近な桜町遺跡の見学から古代のロマンを強く感じ、歴史をひもとく 考古学者になりたいと、国立文化財機構奈良文化財研究所に入門。平城 京跡から発掘された土器のかけらの洗浄や接合に挑戦し、実際の遺構で 発掘体験をするなど、考古学者の卵として貴重な経験となりました。

体験記 入門前は、考古学者は漠然と想像力で仮説を立てている より イメージがありましたが、今回の入門でお世話になった先生方は細かい部分に隠された手がかりや周りの状況をヒントに一つ一つの遺物と向き合っていました。先生方の様な研究者になる為には、幅広い知識が必要だと気づきました。これからも遺跡や埋蔵文化財センターを訪れ、遺物の知識を深めたいと思います。

子どもたちの発想力や創造力・ユーモアのセンスなど多様な可能性を引き出すため、各分野で活躍されてい る方を講師にお招きし、夏休み期間中に3つの道場を開催しました。

直感的なイメージ、柔軟な発想力、創造力を形にする表現力を育てる

講師:森みちこさん(漫画家)

オリジナルの漫画づくりを通して、自分のアイディアや考え を絵と言葉で表現する手法を学びました。

みんなに読んでもらう作品として仕上げることを体験するこ とで、自分のイメージや思いを伝える絵や言葉の展開・表現の 難しさと、1つの作品が出来たときの達成感を味わいました。 ※みんなが描いた漫画は1つの作品集にまとめてプレゼントしました。

第1回【8/10】オリジナルマンガのネームをつくろう

第2回【8/21】原稿の下描きとペン入れをしよう

第3回【8/24】 スクリーントーンを使ってみよう







漫画の描き方指導



原稿の制作

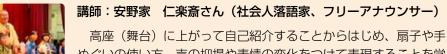
落語を通して、ユーモアのセンスやウイットに富んだ表現力を育てる



こばなしの指導風景



お笑い大会 大喜利の様子



ぬぐいの使い方、声の抑揚や表情の変化をつけて表現することを学 びました。

お笑い大会では、ホールに集まった家族の皆さんを前にこばなし や大喜利を披露することができました。



お笑い大会 集合写真

第1回【8/4】高座で自己紹介しよう

第2回【8/10】大きな声で発表しよう

第3回【8/17】表現力を高めよう

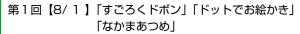
第4回【8/20】お笑い大会(発表会)



ゲーム感覚で数学的な考え方を磨き、柔らかい思考力・発想力を育てる

講師:小澤先生、小里先生、中田先生、南先生、杉本先生 (県内小学校教員5名)

教育記念館の耐震改修工事のため、今年度は、場所を県民会 館に移して行いました。小学校の先生方が講師となり、楽しい 授業が行われました。様々な操作活動や解決に向けての話し合 い活動を通して、"算数の楽しさや奥深さ"を体感しました。



第2回【8/8】「dLますの不思議」「ワンカット!一刀切り」

第3回【8/22】「パズル遊びtangram」「数理ゲーム必勝法」



ドットでお絵かき



タングラム



数理ゲーム必勝法

子どもたちの生きる力を育む起業家教育推進事業

子どもたちが変化の時代を「生き抜く力」(失敗を恐れず、目標をもって進む力・諦めない力・やりきる力等)を育成するとともに、子どもたちの将来のキャリアの選択肢を増やし、学ぶ意欲を高めるため、起業家教育ワークショップ「みらいの起業家マインド育成塾」を開催しました。

起業家教育とは…「起業家精神」(チャレンジ精神、創造性、探究心など)や、「起業家資質・能力」(情報収集・分析力、 判断力、実行力、リーダーシップ、コミュニケーション能力など)を有する人材を育成する教育

みらいの起業家マインド育成塾

(公社)日本青年会議所北陸信越地区富山ブロック協議会(JCI)と共同で主催し、小学6年生、中学1・2年生を対象に8月1日(火)に富山県民共生センターサンフォルテで開催しました。

第1部 経済のしくみを知ろう

カードゲームを使って、助け合いながらより良い暮らしを作り上げていく経済活動を疑似体験しました。

グループの仲間と協力しながら、「資源」「技術」「生産物」のカードを組み合わせて、経済をまわすことの基礎・基本を学びました。





グループの仲間とカードゲームに取り組む



適性検査



加藤さんの講話

第2部 自分の長所を見つけよう

適性検査を実施し、まだ気付いていない自分の長所 や可能性を見つけます。検査で気付くことができた自 分の長所に驚く姿が見られました。

また、特別講師の加藤喜昭さんに新しい時代を切り拓くアイディアを形にする過程をお話いただきました。

第3部 みらいをつくるヒントをつかもう

(公社)日本青年会議所北陸信越地区富山ブロック協議会 (JCI)メンバーから、グループ毎に経営者としての体験談をお 話いただきました。

その後、活動のまとめとして「自分自身の将来」をテーマにグループセッションを行いました。







グループセッション

ひとづくり財団からのお知らせ



富山県教育記念館では大会議室 1 室(収容人数:60名程度)、 会議室3室(収容人数各20名程度)の計4室を貸出しています。 会議や講演会、試験会場等にご利用いただけます。

ご利用のお問合せ・お申し込みは

当館 1 階受付 TEL: 076-433-2770 まで ※受付時間 祝日を除く8時30分から17時までご利用料金、空き状況などは、下記から確認できます。 https://www.t-hito.or.jp/reserve/



こんな事業もしています

「高校生とことん科学セミナー」開催事業

県内の高校生に科学への関心をさらに深め、将来の進路 や人生を考えてもらうことを目的に、各分野で活躍中の研 究者を講師に招き、例年3月頃に「講義 | や「実習 | を行っ ています。

テーマ 「飲んだくすりはどうなるの? ~体内でのくすりの動きをみてみよう~」

講師知谷健一氏

富山大学大学院医薬理工学環長 学術研究部薬学·和漢系 教授



※写真は令和4年度(騒音を音波で消す実験)の様子。

高等教育振興事業

県内の高等教育機関(大学・短大等)が実 施する教育研究活動及び地域連携活動等に対 する支援(助成金の交付)を通じて、本県の 学術、文化及び産業の発展を図りました。



●第1号 学会等の開催に対する助成事業

第2号 公開講座、シンポジウム等の開催に対する助成事業

●第3号 研究助成事業

第4号 大学連携支援事業

第5号 私立大学振興事業

令和5年度賛助会員の紹介(令和5(2023)年12月31日現在)

ご支援いただき、ありがとうございます。

(企業·団体)21企業·団体

朝日建設株式会社

●株式会社インテック

大高建設株式会社

●紙ぷらす株式会社

佐藤丁業株式会社北陸支店

●JFEホールディングス株式会社 ●株式会社富山第一銀行

●ダイチ株式会社

武内プレス工業株式会社

●トナミ運輸株式会社

富山エフエム放送株式会社

●富山経済同友会

●富山信用金庫

●日本海ガス絆ホールディングス株式会社

(敬称略、五十音順)

• 阪神化成工業株式会社

●株式会社北陸銀行

● 北陸コカ・コーラボトリング株式会社

北陸電気工事株式会社

北陸電力株式会社

●株式会社MGG

YKK株式会社黒部事業所

(個人)22名

富山県ひとづくり財団では、賛助会員として、富山県の未来を拓く創造性豊かな子どもの育成にご協力いただけ る企業、団体、個人の方を随時募集しております。詳しくは、富山県ひとづくり財団までお尋ねください。

特

典)機関紙の定期配布(年1回)、イベント等の開催案内、各種報告書等の配布

年 会 費 法人会員 年一口 30,000円

個人会員 年一口 3,000円



令和6(2024)年度 富山県ひとづくり財団 事業予定

□ 人づくりに関する調査研究及び普及活動

● とやまファン倶楽部事業

富山県をこよなく愛し、全国から富山県を応援する方々のヒューマンネットワークづくりを推進します。

② 退職教員等活用推進事業

退職教員や民間企業の人材を登録し、学校現場へ紹介することにより、学校における人材確保と優れた指導実践の継承を図ります。

2 元気で創造性豊かな子どもの育成事業

- 「夢の卵」育成事業
- ②「きらめき未来塾」事業

思考道場(算数)、お笑い道場(ことばあそび)、右脳活用道場(漫画)

③ 「ロボットづくり教室」開催事業 ロボットづくりを通して子どもたちにものづくりのおもしろさや楽しさを味わってもらいます。

●「高校生とことん科学セミナー」開催事業

高校 1:2年生対象。研究者と交流しながら先端の科学に触れ、将来の進路について考えてもらいます。

子どもたちの生きる力を育む起業家教育推進事業

小6~中2を対象に「みらいの起業家マインド育成塾」を開催し、子どもの起業家教育の普及を図ります。

■ 元気な地域づくり事業

「学ぼう!ふるさと未来」支援事業

ふるさとに学び、ふるさととともに生きる地域活動を実践している小学校を支援します。

■ 優れた人材育成支援事業

「とやま賞」贈呈事業

△ 教育の歴史文化に関する文献の収集・保管・展示

① 企画展及び恒例展の開催

富山県教育記念館1階展示スケジュール

【企画展】4/18(木)~6/30(日)「戦火を逃れて富山へ来た子どもたち」~学童集団疎開80周年~

【恒例展】7/10(水)~8/22(木) 第22回 さんすうワールド展

8 /28(水)~ 9 /30(月) 第21回 子どもの目、自然不思議発見写真展

10/6(日)~10/12(土) 第38回 富山県教職員厚生会退職厚生部富山支部会員作品展

10/18(金)~11/10(日) 第15回 児童・生徒によるものづくり展

11/16(土)~12/1(日)第55回 富山県造形教育作品展

12/7(土)~1/5(日)第20回 アイデアロボット展

1/17(金)~2/2(日)第35回 富山県中学校美術展

2/14(金)~3/23(日) 第17回 富山県版造形教育作品展・秀作回顧展



2 教育資料収集

富山県の教育の歴史や文化に関する文献や資料の収集及び整理を行い、各種教育展示等で利用します。

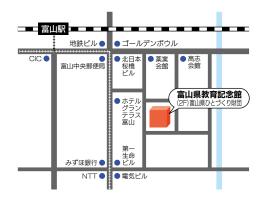
6 高等教育振興事業

県内の高等教育機関が実施する教育研究活動及び地域連携活動等に対して支援します。

7 教育記念館管理運営事業

学校教育関係団体が集う富山県教育記念館の管理運営を行います。





公益財団法人 富山県ひとづくり財団

〒930-0018 富山市千歳町1-5-1 富山県教育記念館2階 TEL (076) 444-2000 FAX (076) 444-2001

Mail toyama@t-hito.or.jp
HP https://www.t-hito.or.jp/zaidan/
X https://twitter.com/t_hitozukuri





HP

令和6(2024)年3月発行